



全国曹洞宗青年会の 活動紹介(六十四)

禅のつどい

「自然に親しむZEN ASOBI」

五〇周年記念事業実行委員

にいかわ
新川 たいげん
泰玄

令和六年一〇月一九日・二〇日、
京都府立るり溪少年自然の家で、
「自然に親しむZEN ASOBI」を
開催し、お坊さんとの一泊二日の
キャンプ体験を通じて、仏教や禅
の世界を一般の方にも体験してい
ただくことができました。

全曹青創立に大きな機縁となっ
た「禅のつどい」に改めて注目し
た上で、創立五〇周年記念事業の
一環として、新たに寺院を飛び出
した会場で「一般の方に仏教や禅
を体験していただくイベントの開
催」の検討を重ねてまいりました。
全曹青スタッフは全国各地から出



向しているため、WEB会議やSNSを通じて、テーマ決めや開催場所の選定から、スケジュールやアクティビティの決定、参加者や協力者の募集に至るまで討論を重ね、現地にも何度も足を運び、今回のイベント開催に至りました。

当日はありがたいことに、参加者とスタッフ総勢一〇〇人程が集まり、坐禅や精進料理などの仏教体験に加え、クイズラリーやお坊さんカフェ、昔の遊び体験、ものづくりなどを我々スタッフと共にを行い、大人から子どもまで沢山の笑顔を見ることができました。



一日目の最後に行った坐禅では、全曹青第二四期で作成をした『ZENHOUSE ZEN CUSHION』を使い坐禅をし、日中にレクリエーションで製作した竹灯籠と蓮キヤンドル、キヤンドルツリーに

火を灯しました。火を灯した瞬間、厳肅な雰囲気の中、仏教を通じて皆の心が一つになるのを感じ、胸が熱くなる思いでした。

二日目は朝の坐禅に始まり、勤行では般若心経を皆でお唱えし、お粥の朝食を食べていただきました。日中は野外クイズラリーや室内で昔遊び体験、仏教体験などを行い参加者とスタッフの間でも沢山の会話をしながら、時に厳しくも和やかな時間を過ごしました。寝食を共にすることによって、短時間の交流では感じることでできない連帯感がスタッフと参加者間に生まれたように感じました。

本事業にご協力くださった各加盟曹青会員と現地のボランティア、医療スタッフの方々に



● 執筆者プロフィール

新川泰玄

曹洞宗北海道第三宗務所青年会 所属

は感謝の気持ちで一杯です。今回初めての企画に不安もありましたが、参加者にとって日常生活では中々機会のないお寺や僧侶との交流を実現した貴重な機会であったと感じます。本事業を通じ、一般の方にお寺や仏教に興味をもっていただくきっかけとなり、また私たちも五〇年前に全曹青創立に関わられた諸先輩方の想いを改めて感じる事ができました。そして寺院に限らず私たちが行動することとで仏教を広める無限の可能性を実感した良い経験になりました。